

2019年の夏の終わり。小樽へ、そして『2019 小樽・鉄道・写真展』へようこそ。北海道最古、全国でも3番目に長い歴史を持つ鉄道、旧手宮線。139年前からこの街の日常を一本のレールでつなぎ、歴史にしてきた場所を舞台とする野外写真展に、今年も写真とともに帰ってきました。

「鉄道展」の出展者は、この一年、様々なところへそれぞれの旅をしてきました。僕ももちろんその一人です。

年に一度同じ場所に集い、一人ひとりの一年の旅で見たものを伝え合う。そこに一人ひとりの様々な旅人が集まってきて、それぞれの旅の景色の一つになってまた次の目的地へと向かっていく。そういう場所、そういう写真展だと僕は思っています。

どうして旅をするのでしょうか。"そこに行きたかったから"、ではないでしょうか。

それは綿密に計画を立てた先にたどり着くこともあれば、大まかな行き先は決まっても、その途中で偶然にして居合わせて出会った眺めかもしれません。

僕の旅はどちらかというと後者の例が多いです。そこに旅のおもしろさを感じますし、なによりもその景色を見ることができたからこの旅が点と点のつながりを超えたひとつつながりのものとして記憶に残るのです。

結果として、僕はそこに行きたかった。その眺めを見たかった。そして、見ることができた。目に見えるものは、つまりその連続なのだと思います。

画面の中で世の中のだいたいのものは見ることができるようになっても、そこに行って見る、そして、本来の目的や予定になかったものと景色の発見で、旅を、日々をつないでいく。

"ここを撮ってくれ!"という景色ではない場所も、自分にとって"ここを撮っておきたい"と感じる場所ならば、そこに自分は行きたかったのだという気持ちにつながるはずです。

そこに行きたかったから、やってきた。旅って、きっとそういうものではないでしょうか。

引き続き、どうか良い旅を!

2019.9.2 ウリュウ ユウキ

1976年生まれ。札幌を拠点に活動。
道内外で個展・グループ展の他、デザインの仕事も。

 <http://www.yuukiuryu.com/>   @yuukiuryu

©2019

Text in English also here!



2019 小樽・鉄道・写真展
2019.9.2-9.16
旧手宮線跡地(北海道小樽市)

そこに
行きたかったから
I wanna get there.

ウリュウ ユウキ
Yuuki URYU

